よくわかる公共事業

令和4年度

県道寺尾藤岡線（山名工区）バイパス整備事業

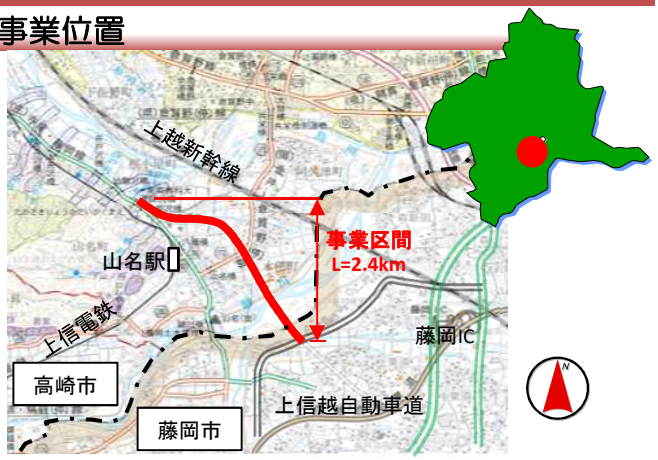
政策3　多様な移動手段の確保

施策２：自動車交通網の整備

事業概要

■所在地：高崎市根小屋町　～　藤岡市篠塚
■路線名：主要地方道　寺尾藤岡線
■事業内容：バイパス整備　延長 2.4km　幅 14.5m
■全体事業費：約70億円
■事業期間：平成23年度～令和6年度（14年間）
■開通前交通量（R2）　：12,765台/日（現道_自動車）
　　：56人/12時間（現道_歩行者）
　　：187台/12時間（現道_自転車）
■計画交通量（R12）　：8,000台/日（現道_自動車）
　　：8,700台/日（バイパス_自動車）
■開通後交通量（実績）：11,853台/日（現道_自動車）
※R2部分供用後　　：3,657台/日（バイパス_自動車）
　　：43人/12時間（バイパス_歩行者）
　　：93台/12時間（バイパス_自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・都市間や地域間交流を促進するため　→　バイパス道路をつくります

地元の声

・朝夕に交通渋滞が発生するため、地域間の移動時間を短縮してほしい。（地域住民）
・道路の幅が狭く、大型車の走行や歩行者自転車の通行が非常に危険な状況である。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
移動時間（高崎市役所～藤岡市役所）	約３３分	約２３分（１０分短縮）
大型車の規制区間	規制あり（現道）	規制なし（バイパス）

実施前

◆朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかります。

鏑川橋の渋滞状況

実施後

◆バイパス道路をつくることにより移動時間が短縮するとともに、周辺道路の渋滞が緩和されます。

令和2年の部分供用状況

事業の進捗状況（R４年3月現在）

今、何をしているか

令和3年度は、用地買収や埋蔵文化財調査、道路改良工事を実施しました。
令和４年度は、引き続き用地買収、道路改良工事を実施します。

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――●・・・・・・● 事業完了